

水越 潔 先生 を 偲 ん で

学 長 島 田 燦 子

文京女子大学副学長、学校法人文京学園理事として要ともいうべき重要な役割を担われてご指導くださった先生が逝かれ、平成11年12月24日に葬儀が行われました。私共一同、まさに「巨星墜つ！」との衝撃と悲しみで一杯でした。だれしものが先生のあの温顔をもう一度拝顔し、ユーモアやジョークをうかがいたいと痛切に想っておられることでしょう。

先生は、都立向丘高校、明治大学で長らく教鞭をとられて、あまたの門下生をお育てになりましたが、文京学園ともご縁深く、私共の大学が短期大学経営学科時代から「財務管理」をご担当くださって教壇に立たれ、明治大学経営学部長の要職を経られてご定年前に文京に移ってくださり、ご住居まで近くに移されて四年制経営学部の初代学部長、副学長として大学の運営にご尽力くださいました。三年前の大学院経営学研究科の創設にも情熱を注いでくださり、よい大学院ができたことに満足をされておいでございました。

明治大学において数多くの学生を教えられ、お弟子さんに温かく厳しい目を注いで育ててこられたご体験を活かして本学の女子学生や院生、また大井町の町民カレッジの受講生にもユーモア溢れる素晴らしいご指導をくださり、常に人気の大教授でいらっしゃいました。「ゼミナールや講義が大好きなので、生涯現役でいたい」と夏前までは学生たちと談笑され、タバコやビールも楽しんでいらっしゃいましたので、まさかこのようなことになろうとは予想もいたしませんでした。

また、教育ばかりではなく、経営学の柱の一つであります財務管理の研究面でも毎年のように著書・論文を書かれて、研究者の育成にも貢献されて学者としても生涯現役であられ、素晴らしい奥様を大切にされた愛妻家、子煩悩な父親として私共の人生の師というべき存在でした。

このように、文京女子短期大学時代からの長きにわたる数々の思い出やご功績は誠に甚大で、これまでの先生のご恩に報いるためにも私共力を合わせて教育や研究に励み、よき学びの場をつくるよう努力をいたす所存でございます。